

平成 26年 8月 9日 幼鳥の性別が分かりました

鳥のヒナの性別ってどうやって調べるか知ってますか。

鳥には哺乳類のような外部生殖器が無いので、オシリを見ても性別判定は素人には不可能です。



じゃあ誰が玄人か?という、「ひよこ鑑定士」とか一般に呼ばれている「初生雛鑑別師」さんたちです。この資格取るの、メチャクチャ難しいです。

とりあえずコウノトリ飼育スタッフに初生雛鑑別師の資格を持つ人はいないので、他の方法で判別する必要があります。

DNA 判定することにします。

ところで、DNA ってよく聞きますが、一体何でしょうか?DNA と遺伝子と染色体がそれぞれどう違うのか、正確に説明できる人は少ないのではないのでしょうか。

DNA という本の中に、遺伝子という生物の設計図が書かれています。染色体はそれをまとめておく本棚のようなものです。

DNA を採取するには、首の後ろの羽根を抜き取って使います。羽根の

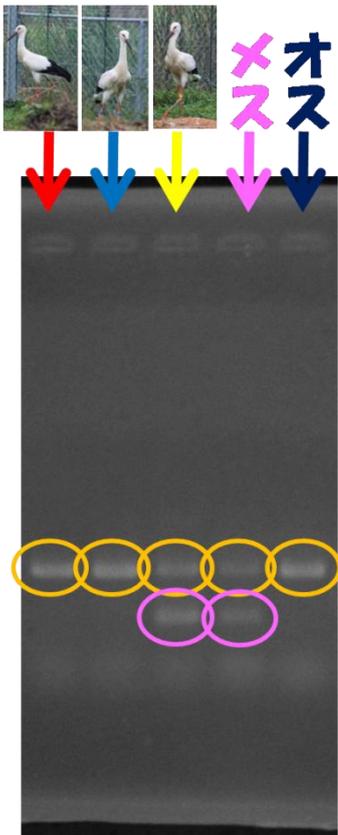
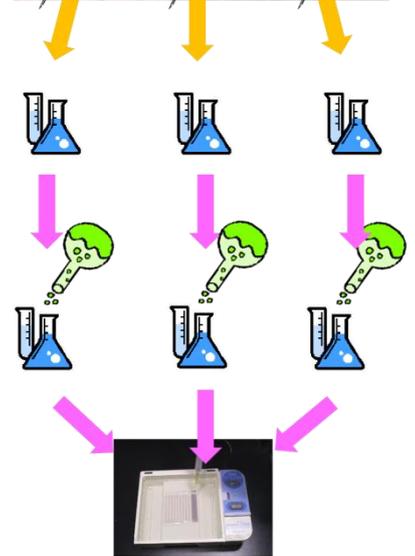


根っここのところにたくさん含まれています!

羽根の根っこから DNA を取り出したら、これに、「みんなが持っている DNA」と「メスだけが持っている DNA」の両方を増幅させる薬品をかけます。そして機械に入れます。

一列に一羽分ずつ入れます。確認

用に、既にオスメス分かっているコウノトリの DNA も増幅して入れます。すると…



このような、白黒の画像が出てきます。真ん中に白い模様（バンドと呼びます）が出ているのが見えますか?

黄色い丸で囲ったのが「みんなが持っている DNA」のバンド、ピンクで囲ったのが「メスだけが持っている DNA」のバンドです。

よって、バンドが 2 本ある子がメスであると分かります。既にメスだと分かっている子の列にも、ちゃんと 2 本表れていますね。

というわけで、赤い脚輪を着けた子が男の子、青い脚輪を着けた子が男の子、黄色い脚輪を着けた子だけが女の子で

あることが分かりました!!